

(公 印 省 略)
公社兵看協発第 679 号
令和 7 年 11 月 14 日

各 位

公益社団法人兵庫県看護協会
会長 丸山 美津子

令和 7 年度 地域における看護職のネットワーク強化事業

No.103 「地域における看護職ネットワーク研修」

～災害時の看護職の連携を考える～ (ご案内)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、本会活動にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年は阪神・淡路大震災から 30 年が経過しました。その後も多く災害に見舞われ今後、南海トラフ地震等の大災害が予想されています。甚大な被害が想定される災害への備え等、改めて防災・減災対策の重要性が増してきています。医療者においても、災害時における医療・看護提供体制の重要性、特に地域レベルでの顔の見える連携の必要性が強く認識されているところです。一方で、有機的で長期的な医療・看護支援が求められている中、施設規模や機能のちがいによる災害時の連携の困難さや看護職においては地域の看看連携の具体的な方法に関する課題も上がっています。

本研修では、阪神・淡路大震災からの教訓を学び、グループワークをとおして地域で働くさまざまな領域の看護職が災害時にどのように連携するか考えます。改めて「災害の看護職の連携」について考える機会としていただければ幸いです。

ご多用中とは存じますが、是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

開催日：令和 8 年 2 月 3 日 (火) 14:00～16:30 (受付 13:30～)

研修場所：兵庫県看護協会会館 3 階 研修室 3

対象者：看看連携に関心のある看護職および看護管理者

地域で働くあらゆる領域の看護職 (会員・非会員を問わず)

定員：80 名 (会場) (オンライン併用) 参加費：無料

研修内容：・講演「阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか」

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授 阪本真由美 氏

・グループワーク 「災害時の看護職の地域ネットワークを考えよう」

申込方法：本会ホームページの[研修申込サイト](#) (manaable) から必要事項を入力

※会場のみ定員数を超える場合は選考をさせていただきます。

申込期間 令和 7 年 11 月 14 日 (金) ～ 令和 8 年 1 月 21 日 (水)



【問合せ先】 公益社団法人 兵庫県看護協会

地域における看護職のネットワーク強化事業担当： 山中・勝田 TEL：078-341-0255 (直通)